

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-7_水産業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06054_01	漁場廃棄物回収事業
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06054_04	内水面種苗放流事業補助金
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06054_08	水産資源増殖事業
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06064_01	漁港整備事業
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06220_01	漁港施設機能保全事業
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06220_02	漁港海岸老朽化対策事業
3-07-01	漁業生産基盤の整備	06239_01	漁業環境整備事業補助金
3-07-02	漁業協同組合の強化と漁業の担い手の支援	06251_01	新規漁業就業者定着促進事業
3-07-02	漁業協同組合の強化と漁業の担い手の支援	06262_01	漁業担い手育成事業補助金

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	06054_01	
事業名(行目名称)		水産振興事業費		細事業名	漁場廃棄物回収事業		
総合 計画	まちづくり	経済・雇用		施策	水産業の振興		
	基本計画	漁業生産基盤の整備		担当課	農林水産課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市内の漁業協同組合員			数値	303人	
	手 段 (どうやって)	底引き網等の漁船操業時に引き揚げられた漁場廃棄物の回収及び運搬、処分。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	漁業者が日々の操業で海底に堆積する廃棄物の回収を行なうことで漁場環境を保全し、漁業生産性の向上を図り、沿岸漁業の振興に寄与する。また、漁業者自身も漁場の環境保全についての意識向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		251	220	220	220	漁場廃棄物回収事業 220千円 内訳 消耗品費 61千円 運搬処分費 159千円	
財 源	県・国支出金	125	110	110	110		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	126	110	110	110		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
処分した廃棄物量(t)			目標値	4	4	4	4
			実績	2.37	2.67	0	2.52
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
漁業者が日々の操業で海底に堆積する廃棄物の回収を行なうことで漁場環境を保全する必要があるため、今後も継続していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
令和3年度と同規模の事業費で要望し、継続実施していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
廃棄物の回収、処理を行ったことにより、良好な漁業環境の保全に繋げることができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06054_04		
事業名(行目名称)		水産振興事業費	細事業名	内水面種苗放流事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興			
	基本計画	漁業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	銅山川漁協組合員	数値	100人			
	手段(どうやって)	あめご、あゆ、にじます、うなぎ等の種苗を購入し、銅山川流域に放流する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	豊かな自然環境を形成している銅山川流域の淡水魚資源の保護・繁殖、地区漁民の経済的地位の向上					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		100	100	100	100	内水面種苗放流事業補助金 100千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	100	100	100	100		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
入漁者数(人)		目標値	200	200	200	200	200
		実績	900	1018	484	926	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
あめご、あゆ、にじます、うなぎの種苗の放流を行い、豊かな自然環境を形成している淡水魚資源の保護・繁殖、地区漁民の経済的地位を向上させるため、今後も継続していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
今後についても事業を継続していくため、今回と同規模の予算で実施していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
銅山川各所において稚魚の放流を実施し、漁業資源の維持増殖に寄与できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	06054_08	
事業名(行目名称)		水産振興事業費		細事業名	水産資源増殖事業		
総合計画	まちづくり	経済・雇用		施策	水産業の振興		
	基本計画	漁業生産基盤の整備		担当課	農林水産課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市内の漁業協同組合員			数値	303人	
	手段(どうやって)	「作り育てる漁業の推進」のため行政と漁業者が連携して、燧灘海域で高級魚とされるヒラメその他の種苗を新居浜市地先海域に放流する。また、抱卵ガザミ(卵を持ったフタリガニ)の放流を行ない、新居浜市民にもなじみの深いガザミ資源の増加にも取り組む。藻場の造成に取り組む、稚魚の成育環境の整備を行なう。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市地先海域、ひいては燧灘海域の水産資源の保護・増殖のため、種苗放流事業、漁場環境の整備等に取り組む、漁獲量の増大・漁家所得の向上に繋げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		400	400	400	400	種苗放流負担金 400千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	400	400	400	400		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
放流尾数(匹)			目標値	40000	40000	40000	40000
			実績	41500	38500	38500	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新居浜市地先海域、ひいては燧灘海域の水産資源の保護・増殖のため、種苗放流事業、漁場環境の整備等に取り組むを今後も継続していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今年度と同規模の予算で実施する方針である。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>ヒラメ、トラフグ、キジハタ等の種苗を各所に放流する事により、燧灘海域での水産資源の増殖、確保に寄与した。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06064_01		
事業名(行目名称)		漁港整備事業	細事業名	漁港整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興			
	基本計画	漁業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	老朽化の進んだ施設の維持修繕を適切に行うとともに、管理上必要な施設の整備・更新をおこなう					
	目的(どんな状態にしたいのか)	適切な維持管理を実施することにより漁業者の施設利用上の事故の防止ならびに労働環境の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	垣生漁港用地測量登記業務 1,742千円	
経費		3,520	1,742	1,742	1,675		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	3,500	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	20	1,742	1,742	1,675		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
漁港施設改良、修繕箇所数		目標値	1	1	1	1	1
		実績	1	1	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在、用地測量業務を契約し、業務を遂行中である。漁港区域内の施設を管理する上で必要な事業であり、今後も継続していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
翌年度以降も、漁港区域内に改修が必要な施設が多数あり、漁港を適切に維持するために継続する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度については、垣生漁港用地の登記未了地の測量、登記を実施し、次年度以降の適正な漁港の維持管理に寄与できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06220_01		
事業名(行目名称)		漁港施設機能保全事業	細事業名 漁港施設機能保全事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策 水産業の振興				
	基本計画	漁業生産基盤の整備	担当課 農林水産課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	120351人		
	手段(どうやって)	漁港施設の老朽化状況調査や機能診断に基づき、施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ機能保全計画を策定したため、その計画に基づき保全工事を施行する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	漁港施設内の老朽化施設等の機能保全計画を策定し、保全工事を実施することで、各施設の長寿命化・更新コストの縮減を図り、水産業の活性化及び漁港機能の保全を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		41,657	42,871	42,871	25,137	工事請負費 40,100千円 設計委託料 2,100千円 事務費 671千円	
財源	県・国支出金	21,824	21,400	21,400	12,530		
	地方債	16,500	17,700	17,700	9,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,333	3,771	3,771	2,907		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
機能保全工事実施箇所数		目標値	2	2	1	2	1
		実績	2	3	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在、測量設計委託が完了し、機能保全工事が施工中となっている。漁港施設は建設から長い年月が経過し、老朽化が進行していることから、対策工事を実施することで、長寿命化を図る必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
年次計画に基づき事業を遂行しているが、翌年度については、予算が減となる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度については、垣生漁港の浮棧橋の実施設計、大島漁港の物揚場の機能保全工事を実施し、施設の長寿命化を図り、漁業生産基盤の整備に寄与できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06220_02		
事業名(行目名称)		漁港施設機能保全事業	細事業名	漁港海岸老朽化対策事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興			
	基本計画	漁業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	120351人			
	手段(どうやって)	施設の機能診断を実施し、長寿命化計画を策定し、老朽化の著しい箇所から施設の改修を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	漁港の利用者及び海岸背後地の地域住民の安全を確保するべく、防護機能を維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		6,490	41,700	41,700	26,100	工事請負費 41,700千円	
財源	県・国支出金	2,579	11,390	11,390	11,390		
	地方債	3,400	26,600	26,600	13,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	511	3,710	3,710	1,610		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
補修工事実施箇所数		目標値	3	0	2	2	1
		実績	3	0	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在は、長寿命化対策工事を施工中である。漁港海岸施設は、建設から長い年月が経過しており、老朽化が進行している。そのため、計画的に長寿命化対策工事を実施し、施設の延命化を図り、背後地への防護機能を維持する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
年次計画に基づき事業を遂行しているが、翌年度については、予算が減となる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度については、大島漁港の護岸の老朽化対策工事を実施し、施設の長寿命化を図り、漁業生産基盤の整備に寄与できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06239_01		
事業名(行目名称)		漁業環境整備事業費	細事業名	漁業環境整備事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興			
	基本計画	漁業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市内の漁業協同組合員		数値	303		
	手段(どうやって)	漁業関連施設の新設・更新・修繕に際して、費用の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した施設の円滑な更新を目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	漁業環境整備事業補助金 2,800千円	
経費		3,000	2,800	2,800	2,800		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,000	2,800	2,800	2,800		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
修繕・更新施設数(箇所)			目標値	4	4	4	4
			実績	10	13	1	4
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
漁業関連施設の新設・更新・修繕に際して必要な補助を今後も継続していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
例年、愛媛県漁協各支所が所有する施設の補修や改修を行っているが、令和3年度から令和5年度の3か年においても県漁協各支所が施設の補修や改修を予定しているため、現行の予算規模で継続して事業は実施していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
浮桟橋撤去及び新設、製氷機、地下水くみ上げポンプ等の老朽化した施設を交換、修繕したことにより、安全で円滑な漁業活動が継続できた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06251_01			
事業名(行目名称)		新規漁業就業者定着促進事業費	細事業名	新規漁業就業者定着促進事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興				
	基本計画	漁業協同組合の強化と漁業の担い手の支援	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新規漁業就業者		数値	3			
	手段(どうやって)	以下の3つの条件を満たす漁業者に対し漁船取得費用や燃油経費の一部を助成する。 ①概ね満45歳未満の者 ②漁業就業後3年以内の者 ③独立して自営する漁業者						
	目的(どんな状態にしたいのか)	U・I・Jターン等による新規漁業就業者の定住定着促進を図るため、就業準備に必要な資格の取得や着業時の漁業経費に対して支援を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,630	2,800	2,800	1,094	新規漁業就業者定着促進事業費補助金 2,100千円 (うち市負担分1,400千円)		
財源	県・国支出金	1,815	1,400	1,400	547			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,815	1,400	1,400	547			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
新規漁業就業者数(継続分含む)			目標値	2	3	2	2	1
			実績	2	3	2	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新規漁業就業者にとって、初期費用が高額なことから、今後もこの事業は継続していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
令和2年度以降の補助分については、継続分2名の補助となっており、令和3年度については、名のための補助となるため、縮小した予算の要求方針である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
新規漁業就業者の初期費用を補助し、費用負担の軽減を図ることができた。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06262_01			
事業名(行目名称)		漁業担い手育成事業費	細事業名	漁業担い手育成事業補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	水産業の振興				
	基本計画	漁業協同組合の強化と漁業の担い手の支援	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	漁業青年協議会員数	数値	4				
	手段(どうやって)	漁業青年協議会が実施する、新たな漁業収益となる事業の研究、加工品開発、先進地調査等への費用の補助を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新たな担い手の育成と青年漁業従事者ネットワークの構築。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		250	250	250	250	事業費500,000円×1/2=250,000円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	250	250	250	250			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
漁業青年協議会員数			目標値	0	4	4	4	4
			実績	0	4	4	4	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
漁業青年協議会が行っている海藻類やカキの養殖試験及び加工品開発等の活動は、今後の地元の青年漁業者の新たな事業収入につながる取り組みのため、現状のまま維持する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
漁業青年協議会が取り組む漁業担い手育成事業費は、令和3年度と同程度の事業費が見込まれるため、翌年度においても同規模の予算方針である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
漁業青年協議会が実施した、ワカメや牡蠣の養殖試験及び加工品開発等の活動経費を助成し、支援する事ができた。								